

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

三陸復興

第119号

平成28年12月15日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

今年も残すところ僅かとなり、クリスマス、年末年始の準備に、岩手県にもあわただしい師走の風が吹いています。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

「いわて三陸復興フォーラム in 長野」を開催しました

長野市

岩手県は、平成28年12月3日（土）、「いわて三陸復興フォーラム in 長野」（主催：岩手県／共催：長野県）を長野市で開催しました。本フォーラムは、東日本大震災津波からの本県の復興を全国に発信するために平成24年より開催しているもので、今回で5回目となります。

開会の挨拶の後、阿部長野県知事から達増知事へ台風10号災害への災害見舞金が贈呈されました。来賓の務台内閣府大臣政務官兼復興大臣

政務官の挨拶に続けて、「地域で進める災害からの復興」をテーマに、達増知事と阿部知事、菊池信州大学地域防災減災センター長が鼎談。達増知事は、これまで長野県からいただいた多くの応援職員派遣について感謝を述べた後、「復興は進んでいるが、恒常的な人手不足が課題」と現状を報告しました。

パネルディスカッションでは、4人のパネリストが「地域の復興力」をテーマに意見交換。震災からの教訓

を盛り込んだ地区防災計画の策定や平時の避難訓練、地域で震災を語り継ぐことの重要性など、それぞれの経験を踏まえた貴重な提言がなされました。

会場では、被災状況や復興の現状を伝えるパネル展のほか、岩手県産品の販売も行い、盛況を博しました。

これまで全国から寄せられた多くの支援に感謝しつつ、これからの復興にも思いを寄せる意義深いフォーラムとなりました。



阿部長野県知事（左）と達増知事（右）



パネルディスカッションの様子



県産品の販売コーナー

「岩手復興ドラマ」制作 東日本大震災津波の記憶を県内外へ発信

盛岡市

岩手県は、東日本大震災津波の記憶の風化を防ぐことなどを目的に、被災者の姿をドキュメンタリータッチで描く「岩手復興ドラマ」を制作します。

このプロジェクトは、復興庁の被災者支援総合交付金を活用して制作するもので、多くの人に参加できるように原作ストーリーや出演者を一般公募した結果、原作ストーリーに75作品、出演者に202人の応募がありました。

平成28年11月17日（木）、岩手県庁で制作発表会が行われ、ドラマを監修する作家の高橋克彦さんを

はじめ、主演に選ばれた宮古市出身の太田いず帆さんと盛岡市在住の刈屋真優さんなどが出席しました。

応募があった原作ストーリーを基に、「日本一ちいさな本屋」と「冬のホタル」の2作品のドラマを制作。俳優の村上弘明さんをはじめ、藤田弓子さん、長谷川初範さん、古谷敏さんなども出演します。

公開は平成29年3月を予定しており、県内の民放2局で放送するほか、県内6カ所で上映会を開催し、岩手県公式動画チャンネルでも県内外に向けて発信します。

特設サイト <http://www.iwatefukkoudouga.jp/>



「岩手復興ドラマ」制作発表会の様子



主演に選ばれた、太田いず帆さん（左）刈屋真優さん（右）



「e!いわて（いわてつながり情報局）」は、復興に関連する岩手のニュースや情報を知ることのできるアプリです。

入手した情報はTwitterやFacebookに投稿しシェアすることができます。

以下のOSを搭載したスマートフォンでご利用いただけます。

・Android OS4.0以降、iOS6.0以降

詳しくは

[いわてつながり情報局](#)

検索



